

Bonjour, France!

～パリ万博 1889～

異国へのまなざし そして “芸術の都 パリ” へ

◆山田 美和(サクソフォン)

濱口 真理子(ピアノ)

イペール: 「物語」より

金の亀を使う女 他

◆犬伏 貴子(ソプラノ) 一ノ瀬 夏美(ピアノ)

ドリーブ: 「カディスの娘たち」 他

◆森重 ひろ美(ピアノ)

ドビュッシー:

「映像第2集」より 金色の魚

「喜びの島」

◆栗木 充代(メゾ・ソプラノ)

市川 麻里子(ピアノ)

ラヴェル: 「博物誌」より

孔雀、ホロホロ鳥

◆春田 真理子(ヴィオラ) 栗田 麻子(ピアノ)

ミヨー: 「4つの顔」

◆神垣 文恵(ソプラノ) 一ノ瀬 夏美(ピアノ)

チャイコフスキー:

「フランスの詩人による6つの歌曲

作品65」より

涙 他

◆田中 千佳子(メゾ・ソプラノ)

市川 麻里子(ピアノ)

チャイコフスキー:

歌劇「ジャンヌ・ダルク」より

さらば、森よ 他

◆山本 裕美子・山下 諒(ピアノ連弾)

デュカス: 「魔法使いの弟子」

《日本語字幕付き》

2019年 6月30日(日) 14時開演 (13時30分開場) 入場料 全席自由 ¥2,000

うはらホール(東灘区民センター) JR住吉駅改札口南側回廊を東へ100m

主催: 神戸フォーレ協会 共催: 公益財団法人神戸市民文化振興財団

後援: 神戸市 神戸市教育委員会 一般社団法人神戸日仏協会 アンスティチュ・フランセ関西-大阪

お問い合わせ: 神戸フォーレ協会 TEL. 080-3132-8913

～パリ万博 1889～



プロデュース：日下部 祐子

パリ万博 1889 ～異国へのまなざし そして“芸術の都 パリ”へ～

パリでは1855、67、78、89、1900年と万博が開催されました。特にフランス革命100周年となる1889年の万博に際しては、エッフェル塔がたてられ、世界各国のパフォーマンスが繰り広げられてインドやジャワなどの音楽や踊りも大人気。世界の工芸品も展示され、なかでも日本への関心は「ジャポニズム」という熱狂にまで高まり、ブームは世界各地へと波及して行くことになります。こうしてパリは東西文化交流の市場となり、世界の芸術文化の一大中心地となりました。

万博が引き起こした異国への関心は、その後の多くの作曲家の作品に結実します。実際に北アフリカやアジアを訪れた作曲家もいますし、中国や日本に滞在した音楽家も何人もいます。

そこで130周年にあたる今年は、地球をぐるりとめぐる「近代音楽の万博」コンサートです!



ソプラノ
犬伏 貴子



ソプラノ
神垣 文恵



メゾ・ソプラノ
栗木 充代



メゾ・ソプラノ
田中 千佳子



ヴィオラ
春田 真理子



サクソフォン
山田 美和



ピアノ
市川 麻里子



ピアノ
一ノ瀬 夏美



ピアノ
栗田 麻子



ピアノ
瀨口 真理子



ピアノ
森重 ひろ美



ピアノ
山下 諒



ピアノ
山本 裕美子

これからの演奏会のご案内

Voyage en France! Vol.9 《祝祭の響き》(仮)

2019年10月22日(火) 17:30開演(予定)

於：兵庫県立芸術文化センター 神戸女学院小ホール